

長崎出島支部 「7月例会」報告 2016年7月20日(水)

テーマ：「未来につなげる新事業への取り組み」

報告者：(有) 菅原産業 菅原 千代枝会員

文責：横山 伸司

菅原さんは愛知県で生まれ、幼少期は家族経営の食堂の看板娘として育ち地元の企業に就職後、2度目の転職先のゼネコン関係の仕事でご主人と運命的な出会いをして結婚、出産を機にご主人の将来的な思いやりによりご主人の実家である長崎の(有)菅原産業で広報・企画を主の仕事として働き始めました。

当初はリーマンショックによる売上げの低迷がありましたが、諫早市のペットボトル回収事業の新事業のチャンスを掴み紆余曲折はありましたが見事V字回復、増員の為ハローワークに求人を出すとそこで障がい者雇用に出会い、同友会入会のきっかけになった中村第1副支部長とも出会いました。以後は新会員さながら精力的に活動され長崎出島支部のアイドルと呼ばれています。

グループディスカッションの「未来の為に何をしますか？」というテーマに会員同士普段聞けない将来の計画や事業の承継、行く行くは未来の長崎、最後は地球と壮大な話で盛り上がりました。又会員の方々は産廃の話やペットボトルの再利用、ゴミの細かい仕分けに障がい者の社員の方々が一生懸命携わっている動画を見てゴミの出し方についても各テーブルで話し合いました。

又、障がい者雇用についても、できる事できない事はあるかも知れないものの、今まで思っていた偏見が少し払拭され前向きに検討したいという意見もあり非常に実のあるディスカッションだったと思います。これも菅原さんのポジティブで一生懸命な人柄が報告で心を動かしたのだと思います。

座長の中村第1副支部長と仲のいい親子の様に受け答えしておりアットホームな質疑応答でした。その中でも「障がい者雇用をして何か問題は無かったですか？」との問いについて満面の笑みで「問題はありません。むしろ助けられました。」と答えられた時、多くの会員の方は凄い人だと感動していました。

普段は3人の子を持つ優しいお母さん、子育てと仕事と同友会活動と多忙すぎる毎日、仲間からは大丈夫か体壊さないか等々と、心配されていましたが、当の本人は好きでやっていますからと満面の笑みで返され、さすが長崎出島支部のアイドルと思いました。

又、懇親会では新しい取り組みとして班別の出席率を出し、トップの班には勝利の美酒が味わえるという企画を実行し見事我が2班が54%で優勝となり、飯田支部長よりお褒めの言葉と支部長のポケットマネーからの美酒もいただきました。また班独自の考えで懇親会を盛り上げる為オリンピックも近いということでオリンピックにちなんだクイズを出し懇親会はかなり盛り上がりました。

オブザーバーで来られたおふたりの方も大変勉強になり楽しかったです、入会も前向きに検討しますと好感触でした。その後、二次会の席でおひとりが入会を表明されました。

同友会の良さを理解していただき増強に結び付ける報告をされた菅原さん、スポンサーや班員の方も大変大喜びです。

今回の例会は非常にアットホームで前向きに物事を考えて行動すれば必ず報われる。出会いによって人は成長する。真にそう実感しました。そしてこの事を未来に繋げ、継承して行かなければいけない。と改めて感じる例会でした。

